

2月定例会議で、一般質問を行いました

山下浩昭府議会議員は、平成30年3月2日、以下の内容で一般質問を行いました。

大阪府における障がい者のスポーツと文化芸術について

【福祉部長より】(障がい者スポーツについては)指導員を養成して府内支援学校等へ派遣しているほか、障がい者スポーツ団体等に対し、PRや運営面の相談支援等を行っており、今後、こうした機能を一層強化してまいります。(障がい者文化芸術については)府内のアーティストや福祉事業所の作品展示や販売の活動支援のほか、舞台芸術に係る支援者などの発掘・育成等を進めます。



▲車いすダンスの様子



▲東大阪市ウィルチェアスポーツ広場

継続した医療的ケアを必要とする児童生徒の通学支援について

【質問内容】 通学バスにも乗れず、毎日送迎せざるを得ない保護者に対して、その負担を少しでも軽減する為、府内関係部局等との連携や様々な事業を活用し、継続した医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援を制度化することが出来ないのか。

【教育長より】 課題の解決に向け、福祉部と連携し、法律改正や財源確保について、国に対して要望を行ってまいります。また、医療的ケアが必要な児童生徒は、個々に状況が異なることから、通学支援事業所が有する車両や人材を活用することができないかなど、ケーススタディ(個別の検証)を行ってまいります。

(昨年の台風第21号で大阪生駒線の法面が崩落した災害を受け)道路防災対策について

【都市整備部長より】 今回の台風第21号による被災を踏まえ、簡易点検において、遠方目視だけではなく、ドローンなどの新技術の導入を検討し、異常箇所の早期発見とそれに基づく迅速な対応をめざす。

2025万国博覧会大阪誘致の機運を醸成

2025万国博覧会大阪開催の実現性を調査するため、BIE(博覧会国際事務局)一行が東京・大阪を訪れました。平成30年3月7日・8日と、大阪市役所・大阪府咲洲庁舎に、BIE調査団を約450名で盛大にお迎えました。

さらに、大阪・関西の機運を盛り上げ、本年11月の加盟国による投票を勝ち取ってまいります。



大阪市役所にて▶



本会議場にて

府の森林環境税の用途と(東大阪市上石切町を含む)山地災害対策について

【環境農林水産部長より】 東大阪市上石切町におきましては、防災・減災対策として、最近では、平成27、28年度に国庫補助を活用し、治山ダムを設置したところ。また、平成31、32年度に府の森林環境税を活用した流木対策事業を実施するとともに、災害から「逃げる」という減災意識を醸成する観点から、「森林危険情報マップ」を活用した防災教室も実施することとしている。

今後ともハード・ソフト両面から都市整備部や市町村とも連携を図りながら防災・減災対策に取り組んでいく。

多言語ボランティアを確保する取組みと、(専用避難所の設置を含め)災害時の外国人旅行者の安全確保について

【府民文化部長より】 地域に暮らす外国人の方々が、災害時に避難所において、多言語支援ボランティアとしてご協力いただけるよう、市町村が実施する研修会や交流会等に係る経費を補助する。

(外国人旅行者の安全確保については)昨年度「府内観光関連事業者向け/災害時における外国人旅行者/支援フロー(案)」として取りまとめたところ。今後、市町村や地域の関係事業者に加え、在関西総領事館等と意見交換を行いながら、避難場所も含め、外国人旅行者の安全確保策について、さらなる検討を進めていく。

●平成30年2月定例会議の様子を動画で見いただけます。
大阪府議会ホームページはこちら

▶ <http://www.gikai-chukei.jp>

府立支援学校の設備改修を推進

これまで扇風機やガスストーブで室温調整をしていた府立生野支援学校のプレイルーム(子どもたちが道具を通して「遊び」を行う特別教室)に、エアコンが取り付けられました。



体温調整がうまくできない子供に対する配慮や学習環境の充実にもつながるとして、早期設置を求めていた公明党の要望に対し、実現したものです。全国的に特別支援学校の児童・生徒が増加傾向にあることを踏まえ、さらなる施設整備に力を入れて参ります。

山下浩昭ホームページはこちら。▶ <http://www.h-yamashita.jp>